化学変化と質量の比 できる質量・結びつく酸素（10問）　版F

なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　日づけ：＿＿＿＿＿＿＿

(1) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 17.6 g を完全に酸化させると、
酸化銅は何 g できるか。

(2) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 2.1 g を完全に酸化させると、
酸化マグネシウムは何 g できるか。

(3) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 11.4 g を完全に酸化させると、
酸化マグネシウムは何 g できるか。

(4) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 12.8 g と結びつく酸素は何 g か。

(5) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 2.4 g と結びつく酸素は何 g か。

(6) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 3.6 g を完全に酸化させると、
酸化マグネシウムは何 g できるか。

(7) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 7.5 g と結びつく酸素は何 g か。

(8) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 9.6 g を完全に酸化させると、
酸化マグネシウムは何 g できるか。

(9) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 1.2 g と結びつく酸素は何 g か。

(10) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 2.7 g と結びつく酸素は何 g か。

化学変化と質量の比 できる質量・結びつく酸素（10問）　版Fの答え

※ 酸化物の質量＝金属＋酸素。銅なら 4：1：5、マグネシウムなら 3：2：5 の比を先に書いてから計算します。

(1) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 17.6 g を完全に酸化させると、
酸化銅は何 g できるか。
＝ 22 g

(2) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 2.1 g を完全に酸化させると、
酸化マグネシウムは何 g できるか。
＝ 3.5 g

(3) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 11.4 g を完全に酸化させると、
酸化マグネシウムは何 g できるか。
＝ 19 g

(4) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 12.8 g と結びつく酸素は何 g か。
＝ 3.2 g

(5) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 2.4 g と結びつく酸素は何 g か。
＝ 1.6 g

(6) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 3.6 g を完全に酸化させると、
酸化マグネシウムは何 g できるか。
＝ 6 g

(7) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 7.5 g と結びつく酸素は何 g か。
＝ 5 g

(8) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 9.6 g を完全に酸化させると、
酸化マグネシウムは何 g できるか。
＝ 16 g

(9) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 1.2 g と結びつく酸素は何 g か。
＝ 0.8 g

(10) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 2.7 g と結びつく酸素は何 g か。
＝ 1.8 g

free-print.net ｜ 化学変化と質量の比の計算問題プリント できる質量・結びつく酸素 版F ｜ 学校・塾での配布OK